

# 美術館の裏・表

## ～ 修復の現場から ～

美術館には収蔵している作品を良好な状態で保存して次世代に引き継ぐ大切な役目があります。絵画修復家大原秀之氏は昨年、四万十町立美術館作品の補修を行いました。ぜひこの機会に地域の美術館や美術品の修復についてのお話を聞いてみませんか。

### 講師：大原秀之 氏（絵画修復家）



#### 大原秀之氏プロフィール

1950年東京生まれ。ドイツ・国立デュッセルドルフ芸術大学（クンストアカデミー）芸術学部。

76年デュッセルドルフ市立美術館修復室の研修生となる。

79年デュッセルドルフ市立修復センターの修復家として採用され、後に近現代美術主任修復家となる。

88-89年ポーランド・トルーン市国立コペルニクス大学修復学部客員研究員。89年帰国。

鎌倉市に絵画修復工房を開設。

吉備国際大学文化財総合研究センター教授。

吉備国際大学副学長を務める。

2022年より吉備国際大学名誉教授。大原美術館理事。

近年の展覧会コンサベーションに、「ゴッホ展—響きあう魂へレーネとフィンセント」、「ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀絵画展」、「メトロポリタン美術館展 西洋絵画の500年」、「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」などがある。

日時

令和6年 3月 30日（土）

13:30 ～ 15:30

入場無料

場所

四万十町役場東庁舎1F 多目的大ホール

対象

中学生以上

定員

30名 \*申込み締切り 3月29日(金) (席に余裕があれば当日の参加も可能です。)

お申し込み・お問い合わせ先：四万十町立美術館 ☎0880-22-5000